

{ 月に贈ることば }

ふたりで歩いた、 鮮やかな夏。

花の名前をくちずさみながら、
緑の木々の間を歩く。
いつも新鮮な驚きをくれた君に
変わらない気持ちを、贈ろう。





繊細な真鯛にサフランを効かせたソースをあわせた「真鯛のボワレ」。とりどりの野菜を添えて。



キッシュロレーヌや夏野菜のタルト、仔牛のパテ、ミニブリニとフォアグラのテリーヌなど、細やかな調製のアミューズ・プーシェ 11種。



ガーベラやカーネーション、スプレーバラといった愛らしい花々に、小さな赤い実のヒベリカムがアクセント。



抹茶のティラミスとスタンダード・ティラミスのデザート。



七北田公園の鮮やかなグリーンが窓外に広がる「仙台泉斎場 清月記」。花壇の、そして野の花のイメージを感じさせる花々をコーディネート。



良質な素材、確かな仕立て。会主の思いが伝わるよう、花々と料理を寄り添わせる。右手より、「カニと海老のセルクル仕立て」、「白身魚のスフレ」、「牛ロースのソテー マデラソース」。

夫から妻へ。

愛してるよ。
いつまでも。

あの橋を渡って、君の姿が緑にとけてゆく。きれいに植栽された木々の間をゆつくり歩き、名もなきような小さな野の花に立ちどまる。やわらかい芝生へ直に触れたそうに、サンダルつま先をじつと見入る。そんな君の姿を想像しながら、ぼくは、君の後姿に小さく手を振り、声にならない声をかける。

「ぼくたちの家は、あの橋の向こう。七北田公園の近くで暮らしたい、というのは、彼女の希望でした。絵にかいたような転勤族で、お互いに継ぐべき家も持たないふたり。定年を迎えるとき、これからどこに住みたい?と訊いたばく

に、彼女は。じゃあ、あのきれいな公園のあるまちで暮らしましょうよ。」と言ったんです」
カラン、と氷を鳴らしたグラスをみつめながら、彼は窓の外にあふれた七北田公園の緑に目を細めました。20年ほど前、できたばかりだった七北田公園をふたりで歩き、街の、季節の匂いを楽しんだ。それからふたりは、どこへ転動しても公園のそばに住むことに決めたそうです。

淹れたてのアイスコーヒーを運んできたスタッフに、彼は声を掛けました。
「ここは、なんて変わらないんだろう。20年前、ここもできたばかりだったでしょう? 葬祭会館

だなんて思えなくて、彼女は、素敵なホテルねえ。ロビーがとってもし上品よ、見て、なんて言ってる。戻ってきてまた、びっくりしたんだよ。ねえ、あのときのままよ!とても行き届いているんだわ。最期は、ここにお願しようかしら?。」なんて」。

「...玄関先や前の歩道を掃除していると、よくお声をかけて戴きました。暑いから気をつけてね。今日は雪になるかしら。公園のアジサイが咲いたわよ。って。お会いする時間が、とても楽しみでした」。

スタッフの言葉に、深く静かな哀悼の意がこもります。その地に根ざしながら、訪れるひとひとりひとりの心に寄り添い、ともに悼む。送るひと、送られるひとにとつての最上をともに創る。それが、『清月記』の心です。
「ありがとう。...ああ、おいしいね、このアイスコーヒー。ぼくたちは大のコーヒー好きで、家で飲むコーヒーはほとんどぼくが淹れていたけど、アイスコーヒーだけは彼女のほうが上手かった。天気の良い昼下がりにはふたりで散歩に出掛け、帰ってくるころにはおいしい水出しコーヒーができてあがっている。そんな休日が、大好きだったな」

花々のブロンナードのような会食のテーブル。彼女の笑顔を飾る

花々も、野の花を思わせる可憐なもの選ばれています。お皿の上にも、とりどりの花のような色彩。11種ものアミューズ・プーシェを寄せたひと皿に、ゲストの表情も優しく和みます。あらゆる本格が叶う「二乃庵」に彼が望んだのは、海辺の別荘地で育った彼女の好きな、お魚のフレンチコース。前菜には、浅く火を入れたかにと海老をフユメのジュレで寄せたセルクル仕立て。真鯛のボワレには、まろやかなブル・サフランのソースをあわせました。デザートは、スタンダードなティラミスと抹茶のティラミス。ふたりで歩いた公園の緑を思わせる色彩と、薫り高いコーヒーの味わい。ふたりの思い出を、食卓を囲むみんなで共有するひとときです。

君に、贈る。君を、送る。
ぼくが選んだ花は、気に入ってもらえただろうか。何年いっしょに暮らしても、ぼくは新しい君を発見していた。何年いっしょに過ごしても、君はぼくにとって最大の関心事だった。君の姿が見えなくなつて、声が聴けなくなつた今も、それは続いているんだ。これからもぼくは、君を発見する。公園を歩きながら。コーヒーを淹れながら。君と過ごした、ありとあらゆる場所で。愛しているよ。いつまでも。

新しい別れのスタイル 「エンディングバンク」とは

清月記 エンディングバンク推進室 室長 成田実千代さん



大切な人たちの大切な思い出を登録しておくことができる「エンディングバンク」は、インターネット版エンディングノートからさらに進化した新しいスタイルのサービス。画像や映像はもちろん、自分に万が一のことがあった場合に送信される大切な人たちへのメッセージも個別に登録しておくことができる無料サービスです。

ひとつひとつの出来事と、画像とともにコメントを添えて登録しておけば、思い出はいつまでも色褪せることはありません。時系列に並べると自分年表にもなります。そうした記録によって、ご家族はいつでもあなたとの思い出と再会することができず。家族旅行でよく訪れた場所、そこで見た美しい景色、子ども達の成長の様子など、残された記録から当時の記憶が次々と蘇ってくることでしょう。

「今の自分」は刻々と変化していきます。想いも日々変化していくものです。エンディングノートをその度に書き換える方もいらっしゃると思いますが、インターネットなら加筆・修正することも簡単です。古くからの友人、かつて仕事でお世話になった方々、近隣の仲間達、そして家族。それぞれに宛てたメッセージもエピソードが増えれば書き直すこともあるでしょう。エンディングバンクなら、伝えたい感謝のメッセージも何度でも加筆・修正して再登録することができ、更にそのメッセージには、相手が聞いた時に音楽が流れる等の演出が施されています。

パソコン操作が苦手な方にも簡単にお使いいただけるように、分かりやすいページデザインに、入力すべき内容がガイド表示されます。また、自動保存機能によって、入力した内容が消えてしまう心配もありません。簡単に便利な機能を無料でどなたでもご利用いただくことができます。

あなたもエンディングバンクで大切な人たちに想いを贈る(送る)準備をしませんか? あなたの「終活」を全力でサポートいたします。



楽しかった思い出や大切な人々へのメッセージをエンディングバンクに登録しませんか?

エンディングバンクへのアクセスは
<http://www.ending-bank.jp>

清月記 グッドライフセミナー

「エンディングノートの書き方 ～ホシヤマ珈琲店のおいしいコーヒーとともに～」

清月記オリジナル
エンディングノート
プレゼント



日時: 8月11日(土)、9月17日(祝・敬老の日)
10:00~11:30

会場: ぶつだんギャラリー中央 清月記
仙台市青葉区一番町1-1-6
(東二番丁通り沿い、仙台東二番丁郵便局ちかく)

参加料: 無料 定員: 30名

問合せ・申込み
エンディングバンク推進室 ☎022-782-5750

「清月記」では、昨年秋より継続的にエンディングノートの書き方の入門セミナーを開催。今回もその内容で開催いたします。エンディングノートをお持ちでない方も、ご心配なく。「清月記」オリジナルエンディングノートをさし上げます。また、「清月記」の新サービスであるインターネット版エンディングノート「エンディングバンク」についてもご紹介。おひとりではもちろん、ご夫婦や親子、お孫さんとのご参加も大歓迎です。

あなたのまちへ無料出張講座承ります
お気軽にお問い合わせください

清月記

0800-888-5777
www.seigetsuki.co.jp



仙台中央斎場 清月記
◎仙台市青葉区中央2-7-4
☎022-715-5777

仙台東斎場 清月記
◎仙台市青葉区中央1-30-1
☎022-374-5777

仙台北斎場 清月記
◎仙台市太白区鹿野3-4-13
☎022-746-5777

仙台南斎場 清月記
◎仙台市宮城野区高砂1-4-5
☎022-258-5777

仙台東斎場 清月記
◎仙台市若林区志波町1-20
☎022-238-5777

仙台東斎場 清月記
◎仙台市青葉区南光台南3-7-7
☎022-308-5777

仙台北斎場 清月記
◎仙台市青葉区北根2-6-23
☎022-272-5777

密葬館北斎場 清月記
◎仙台市青葉区北根2-6-23
☎022-272-5777

通夜・法事会館 仙台南斎場 清月記
◎仙台市若林区新寺4-4-1
☎022-257-5777

富谷斎場 清月記
◎黒川郡富谷町藤乃杜2-1-10
☎022-348-5777

石巻斎場 清月記
◎石巻市南中里4-7-23
☎0225-93-5777

石巻大街道斎場 清月記
◎石巻市大街道北3-3-8
☎0225-23-5777

密葬館石巻大街道斎場 清月記
◎石巻市大街道北3-3-8
☎0225-23-5777

ぶつだんギャラリー中央 清月記
◎仙台市青葉区一番町1-1-6
☎022-216-5777

ぶつだんギャラリー泉 清月記
◎仙台市泉区長命ヶ丘2-22-2
☎022-378-7555

ファミリーたいはく
◎仙台市太白区大野田袋前52-2
☎022-247-4050

清月記のオーダーメイドケータリングサービス
(お問合せは)
☎0120-08-1151 ◎仙台市青葉区北根2-6-18

ぶつだんギャラリー若林 清月記
◎仙台市若林区白萩町35-12
☎022-283-5777

ぶつだんギャラリー石巻 清月記
◎石巻市大街道北3-3-8
☎0225-23-5779

ファミリーながまち
◎仙台市太白区八本松1-13-6
☎022-308-4050